



成田市議会だより



成田市観光
キャラクター うなりくん

平成23年 3月定例会

主な内容

常任委員会	3
平成22年度の行政視察	5
議案と審議結果一覧	6
特別委員会	8
予算特別委員会を設置	10
一般質問	11
コーヒータイム	16

今年の春、市内の小学校では1,217名の新一年生が誕生します。
やっとほころび出した桜の花の下、笑顔がまぶしい入学式です。(4月6日 成田小学校)

3月

定例会の
あらまし

44議案を可決・同意

平成23年度当初予算やJR成田駅東口 再開発事業施行条例の一部改正など

平成23年3月定例会は、2月10日に招集され3月9日まで28日間の会期で開かれました。定例会の初日には、43議案が上程され、また、辞職に伴う議長選挙が行われました。2月16日には、予算特別委員会が新たに設置されました。

一般質問は、各会派の代表質問と個人質問が2月16日から3日間、15人の議員が登壇して行われ、18日には議案1件を同意しました。21日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案42件と発議案1件を原案どおり可決しました。請願については、継続審査中の請願1件を含む2件を採択、また1件を不採択とし、閉会しました。

3月定例会の日程

月 日	内 容
2月10日(木)	本会議（開会、会期の決定、全議案一括上程）
16日(水)	本会議（代表質問） 予算特別委員会
17日(木)	本会議（一般質問）
18日(金)	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
21日(月)	新清掃工場整備特別委員会、 経済環境常任委員会
22日(火)	建設水道常任委員会
23日(水)	空港対策特別委員会、 教育民生常任委員会
24日(木)	新駅・基幹交通網整備促進 特別委員会、 医療問題特別委員会
25日(金)	総務常任委員会
2月28日(月)	予算特別委員会
3月 1日(火)	予算特別委員会
2日(水)	予算特別委員会
9日(水)	本会議（会議録署名議員指名、 議案審議、閉会）



岩澤 衛 議長

岩澤 衛 議長が就任

小池正昭議長の辞職に伴い、議長選挙が2月10日に行われ、第35代議長に岩澤 衛議員が選出されました。

医療問題特別委員長に内山健議員

岩澤衛委員長の辞任に伴い、新たに正副委員長が決まりました。

委員長 内山 健
副委員長 石渡孝春

議会運営委員に石渡孝春議員

岩澤衛委員の辞任に伴い、石渡孝春議員が議会運営委員に選出されました。

常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

総務 常任委員会

付託された議案7件を審査し、可決しました。
所管事務について2件の報告を受けました。

▼成田市消防署設置条例の一部改正

[内 容] 平成23年度及び24年度の2カ年で、現在の用地での建て替えを予定している赤坂消防署庁舎の工事期間中は、公津分署の敷地内に赤坂消防署の機能を移転して運用することから、赤坂消防署の位置について所要の改正を行うもの。

[主な質疑] **問** 赤坂消防署の機能を公津分署に移転した場合の影響は。

答 道路状況によるが、所轄する玉造、八生、公津地区の一部において、最大で5分程度の現場到着時間の遅延が考えられる。

▼平成22年度成田市一般会計補正予算（第5号）

[内 容] 決算見込みあるいは事業の確定、国の補正予算に伴い、歳入歳出それぞれ13億4,444万円の減額補正を行うとともに、新清掃工場整備事業等について継続費の変更、総合窓口設置事業等について繰越明許費^{注1}の追加及び変更を行うもの。

[主な質疑] **問** 総合窓口^{注2}の設置場所と、対応する職員は。

答 市役所本庁舎1階西側フロアに市民課、保険年金課の職員を中心に臨時職員等も活用し開設する予定であり、現在設計中で、平成23年5月には工事開始予定である。

^{注1} その年度内に事業が終了しない見込みとなった場合に、予算を翌年度に繰り越して執行することができるもの。
^{注2} 各種行政サービスを1カ所で受けられる窓口。

▼成田市立中学校設置条例の一部改正

[内 容] 西中学校学区内の生徒数の増加に対応するため、公津の杜地区に中学校を新設するに当たり、同校の名称を公津の杜中学校と定め、本設置条例に加えるもの。
なお、公津の杜中学校の開校は、平成25年4月を予定している。

[主な質疑] **問** 公津の杜中学校の生徒数の見直しは。

答 学区の見直し等を行い、平成25年度で508人の予定である。

教育民生 常任委員会

付託された議案14件を審査し、可決しました。
所管事務について10件の報告を受けました。

▼成田市立大栄幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正

[内 容] 大栄幼稚園における園児数の減少により効果的な幼児教育が困難になることが予想されることから、園児数増加と園の活性化を図るため、平成23年4月から「預かり保育」を実施するに当たり、所要の改正を行うもの。

[主な質疑] **問** 預かり保育の専用の部屋の確保と職員の配置は。

答 幼稚園の一室を専用に改修し、職員を2名配置し運営していく予定である。



▲成田市立大栄幼稚園

経済環境 常任委員会

付託された議案2件と請願1件及び継続審査中の請願1件を審査し、可決並びに採択しました。

所管事務について4件の報告を受けました。



▲卸売市場で開催の「わくわく感謝デー」

▼平成22年度成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）

[内 容] 決算見込みに基づき、歳入歳出それぞれ594万2千円の減額補正を行うもの。

[主な質疑] **問** 市場手数料の収入増につなげるために具体的にどのような手だてを講じたのか。

答 現在行っている、わくわく感謝デーは2年目に入ったが、市場の活性化を図っていくという目的を持ち、市場全体で取り組んでいる。

▼TPP^{注3} 交渉参加反対に関する請願

▼TPP、FTA、EPA^{注4} など、輸入自由化推進路線の見直しについて意見書提出を求める請願

[主な賛成意見] ● 国内外の様々な状況や昨今の異常気象等を考えると、輸入により今後とも食料の安全供給が保障されているとは到底思えない。まずは、危機にひんしている日本の農業を建て直す施策を展開するべきではないか。食料の安定供給には農業の復興が必要であり、それを阻害するTPPへの参加に反対する。

注3 環太平洋戦略的経済連携協定。加盟国間で取引される全品目について関税を撤廃しようという協定。

注4 FTA…自由貿易協定。EPA…経済連携協定。

建設水道 常任委員会

付託された議案10件と請願1件を審査し、議案のすべてを可決し、請願1件を不採択としました。
所管事務について2件の報告を受けました。

▼成田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

[内 容] 中心市街地としてふさわしい土地利用を図り、適正な都市機能と健全な都市環境を確保するため、成田都市計画東町・花崎町地区地区計画に定めた建築制限について、本条例に加える改正を行うもの。

[主な質疑] **問** 地区計画で建築物の制限について列記されているが、ほぼ想定されるものが入っているのか。

答 今回の地区計画の内容で、計画されているものは網羅されていると認識している。

▼市営住宅南囲護台団地2期新築工事（建築工事）請負契約の締結

[内 容] 平成24年3月の完成を目途に、3階建て1棟21戸を予定している市営住宅南囲護台団地の第2期建築工事請負契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

[主な質疑] **問** 新家賃へは傾斜家賃^{注5}で移行していくのか。

答 5年間で傾斜しながら徐々に上がり、6年目に正規の家賃となる。



▲市営住宅南囲護台団地、手前が2期工事予定地

注5 入居当初の家賃を軽減し、以後、毎年一定率で増額していくこと。



国に意見書を提出

3月定例会にて、議員から提出された議案（発議案）が可決され、国及び関係行政機関に意見書が提出されました。提出された意見書は下記のとおりです。

- T P P交渉参加反対を求める意見書

◆平成22年度の行政視察

各委員会では、先進事例を学ぶため行政視察を実施しました

総務常任委員会 （7月20日～22日） 長岡市：防災シビックコア地区整備計画 新潟市：コンプライアンス推進事業 新発田市：まちづくり基本条例他	教育民生常任委員会 （7月6日～8日） 高松市：小中一貫教育の取り組み 高知市：総合あんしんセンター 文化プラザかるぼーと
経済環境常任委員会 （8月2日～4日） 鎌倉市：ごみ行政 福山市：温暖化対策事業 今治市：地産地消の推進	建設水道常任委員会 （7月14日～16日） 秋田市：景観まちづくり 青森市：中心市街地活性化・駅前再開発 函館市：まちづくり構想
空港対策特別委員会 （10月6日～8日） 富士山静岡空港：地元企業の参入等 福岡空港：騒音対策 新千歳空港：新国際線ターミナルビル	新駅・基幹交通網整備促進特別委員会 （10月19日～21日） 久喜市：圏央道の整備状況 大阪府島本町：駅設置と街づくり 都留市：リニア実験線
新清掃工場整備特別委員会 （10月19日～21日） 那覇市・南風原町環境施設組合：環境の杜ふれあい 中部北環境施設組合：美島環境クリーンセンター うるま市：野鳥の森自然公園	医療問題特別委員会 （7月14日～16日） 裾野市：赤十字病院事業費補助 豊橋市：休日夜間急病診療所 諏訪市：赤十字病院補助・行政との連携他
議会運営委員会 （11月16日～18日） 尼崎市／朝来市／京丹後市：議会改革	

くわしい情報は市議会 ホームページをご覧ください

市議会ホームページでは、紙面の都合で市議会だよりではお伝えできなかったくわしい情報をご覧いただけます。本会議や委員会のライブ中継や録画中継（本会議のみ）、市議会の日程や行政視察の内容など様々な情報のほか、会議録の検索システムなども便利にご利用いただけます。

成田市議会

検索

<http://www.city.narita.chiba.jp/gikai/index.html>

<市議会ホームページメニュー>

議長・副議長 ■ 議長・副議長あいさつ ■ 歴代議長・副議長 ■ 議長交際費	議員名簿 ■ 議員名簿 ■ 委員会名簿 ■ 会派別名簿 ■ 座席表 ■ 議会選出各種委員等	市議会の概要 ■ 市議会のしくみ ■ 市議会の役割 ■ 市議会の流れ ■ 議会用語解説 ■ 条例に係る申し合わせ
市議会の日程、議案など ■ 日程 ■ 議案 ■ 一般質問 ■ 可決した意見書・決議	市議会の傍聴、請願など ■ 傍聴のしかた ■ 請願・陳情など	市議会広報、会議録など ■ 市議会だより ■ 議会中継 ■ 会議録の検索 ■ 行政視察報告 ■ 行政視察の受け入れ ■ 政務調査費

議案と審議結果一覧

議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ													明成会			公明党		リベラル		周政会		共産党		市 蒼						
			佐久間一彦	湯浅雅明	小澤孝一	伊藤春樹	秋山忍	堀川冽	大越弘一	加瀬間俊勝	村嶋照等	小池正昭	石渡孝春	岩澤衛	宇都宮高明	海保貞夫	上田信博	平良清忠	越川富治	水上幸彦	内山健	大倉富重雄	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	荒木博	神崎利一	青野勝行	鶴澤治	馬込勝未	足立満智子	雨宮真吾	
◆ 議案																																	
1	人権擁護委員の推薦（富澤 浩）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	成田市行政組織条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3	外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員 の処遇等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	一般職職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5	成田市特別会計条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
6	成田市立中学校設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
7	成田市立大栄幼稚園の設置及び管理に関する 条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
8	成田市障害者福祉手当支給条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
9	成田市ねたきり老人等福祉手当支給条例の一部 改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
10	成田市重度認知症老人介護手当支給条例の一部 改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
11	成田市国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
12	成田市久住パークゴルフ場の設置及び管理に関 する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
13	成田市豊住運動施設の設置及び管理に関する条 例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	成田市地区計画の区域内における建築物の制限 に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
15	成田市都市計画事業JR成田駅東口第二種市街地 再開発事業施行条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	
16	成田市消防署設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	市営住宅南団護台団地2期新築工事（建築工 事）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	ニュータウン中央線橋梁製作工事請負契約の変 更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	市有財産の取得（公津の社複合施設整備事業用 地）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	市有財産の取得（赤坂方線整備事業用地）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事 務協議会規約の制定に関する協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
22	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共 団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合 規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	市道路線の廃止（土室居ノ内線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	市道路線の認定（土室居ノ内線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



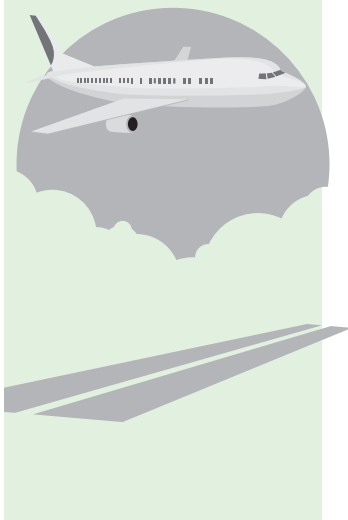
議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ											明成会			公明党		リベラル		周政会		共産党		市 蒼										
			佐久間一彦	湯浅雅明	小澤孝一	伊藤春樹	秋山忍	堀川冽	大越弘一	加瀬間俊勝	村嶋照等	小池正昭	石渡孝春	岩澤衛	宇都宮高明	海保貞夫	上田信博	平良清忠	越川富治	水上幸彦	内山健	大倉富重雄	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清博	荒木利一	神崎勝行	青野勝治	鶴澤治	馬込勝未	足立満智子	市 蒼 雨宮真吾			
25	平成22年度成田市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	平成22年度成田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27	平成22年度成田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
28	平成22年度成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
29	平成22年度成田市老人保健特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	平成22年度成田市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31	平成22年度成田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
32	平成22年度成田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
33	平成22年度成田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
34	平成22年度成田市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
35	平成23年度成田市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
36	平成23年度成田市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
37	平成23年度成田市下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
38	平成23年度成田市公設地方卸売市場特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	平成23年度成田市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	平成23年度成田市農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	平成23年度成田市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	平成23年度成田市簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	平成23年度成田市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆ 発議案																																			
1	TPP交渉参加反対を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆ 請願																																			
1	TPP交渉参加反対に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	「JR成田駅東口再開発事業」のあり方に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
◆ 継続審査請願(平成22年12月)																																			
7	TPP、FTA、EPAなど、輸入自由化推進路線の見直しについて意見書提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席 ※ 議長(岩澤衛)は採決に加わりません。
 ※ 会派名の略称は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、市=無所属市民の会、蒼=蒼成会

特別委員会

委員会で報告された内容の一部を要約して紹介します。

空港対策 特別委員会



●空港容量30万回に向けての騒音直下対策

騒防法第1種区域及び谷間地域の民家防音工事の施工内容の充実については、成田市と同様に第1種区域及び谷間地域を抱える市・町と連携しながら、早期に実施できるよう取り組んでいるとのことでした。

また、民家防音家屋等維持管理費補助金の拡充、航空機騒音地域補助金の拡充については、空港容量30万回の前倒し対策として、平成23年度当初予算に計上したとのことでした。

[主な質疑] 問 補助金の拡充を実施するにあたって、財源の見通し、現状は。

答 成田国際空港株式会社に対して、十分な財源の確保と空港周辺対策交付金の増額のほか、新たな財源をお願いした経緯があるが、成田国際空港株式会社としては、新たな財源は難しいため、空港周辺対策交付金の見直し等で対応したい旨の考え方を示している。

●成田空港A滑走路4,000m化関連工事

進入灯の計画用地内に、岩山記念館が存在していることから、現状では、滑走路末端を750メートル内側に移設した形状で運用しているが、基準の改正及び安全検証等により、記念館が残ったままでも4,000メートル化の整備が実施できる見通しが立ったため、南側着陸末端を正規の4,000メートルの位置に戻すもので、2011年度当初に工事に着手し、2012年末には供用開始したいとのことでした。

[主な質疑] 問 南側にどれくらい影響がでるのか。

答 騒音のレベルとしては、約0.7デシベル増加するが、騒音の影響は少ない。

新駅・ 基幹交通網 整備促進 特別委員会



●成田新高速鉄道

環境アセスメント^{注6}に基づいて、成田スカイアクセス開業後の調査を実施しているとのことでした。成田新高速鉄道の利用状況については、概ね好調とのことであり、成田湯川駅の平成23年1月の1日当たりの乗降客数は、平均750名前後とのことでした。

また、(仮称)土屋駅については、新駅設置に係る研究会で抽出した問題解決に向け、引き続き調整を進めているとのことでした。

●一般国道464号北千葉道路

用地については、成田市北須賀から押畑までの延長5.6キロメートルの区間についてはすべての地権者との契約が成立したとのことでした。

また、事業者である国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所から事業の進捗状況について説明がありました。

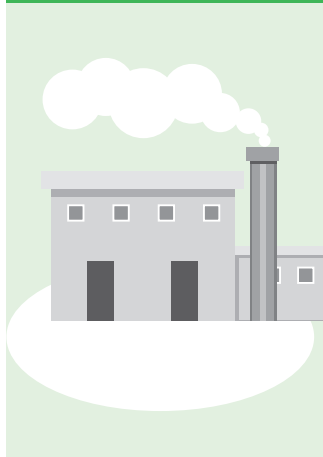
[主な質疑] 問 総事業費に対して現在の進捗率はどの程度か。

答 国の施工区間5.6キロメートルについては事業費ベースで72%の進捗である。

注6 大規模開発事業等による環境への影響を事前に調査・予測・評価し、適正な環境配慮がなされるようにするための一連の手続き（環境影響評価）のこと。



新清掃 工場整備 特別委員会



●新清掃工場建設工事の状況

工期は、当初計画工程に対して、現時点で約5カ月の遅延が生じているとのことであり、その理由としては、気象条件によるものとして、造成工事の最盛期に降雨が多く実作業の日が減ったこと、夏の記録的な猛暑による作業効率の低下や集中豪雨による造成斜面の崩壊があったこと、現地の地質条件によるものとして、軟弱地盤対策としてより広い範囲の地盤改良の実施、ごみピット地下部の壁を二重の遮水構造としたことなどが主な理由とのことであり、今後の工程を慎重に精査し、約9カ月間の工期延長をせざるをえない状況とのことでした。

また、現在の工事の状況は、工場棟本体の地下部分の躯体工事、建築基礎工事が進められており、平成22年12月には、ごみピット地下部分の底版コンクリートの打設が行われたとのことでした。

[主な質疑] **問** 地盤改良のためのくいの増加などは設計の段階でチェックできなかったのか。

答 性能発注方式の中で、詳細な設計をし直した結果としてそのような形になった。

問 今後は天候を理由としたさらなる契約の変更はないと考えてよいか。

答 これからはプラント本体や工場棟の中での工事に入っていくので、大幅な遅れを来すということは想定していない。

医療問題 特別委員会



●成田赤十字病院市町村別救急患者取扱状況（平成22年4月～12月分）

成田市の救急患者数は 7,166人で、前年よりも475人、6.2%減少し、成田赤十字病院全体では 1万7,855人で、前年よりも 720人、3.9%減少した。全体に占める成田市の利用率は、40.1%であるとのことでした。

[主な質疑] **問** 救急患者数の減少している要因は何か。

答 新型インフルエンザの患者が減少したことによるものと考えられる。

●成田市24時間医療相談ほっとラインの利用状況（平成22年5月～12月分）

平成22年12月末までの相談件数は、合計3,679件で、1カ月平均では、459.9件、相談時間は、深夜の時間帯も含めて24時間、相談の電話が掛けられている。30歳代の相談が最も多く、相談対象者は乳幼児の相談が多い。

また、相談内容では、「気になる身体の症状に関する相談」が最も多い。次いで、「現在受けている治療に関する相談」、「ストレス・メンタルヘルスに関する相談」や「育児に関する相談」が多くあるとのことでした。

[主な質疑] **問** 相談に要する平均時間は。また、ストレス・メンタルヘルスに係る相談は長時間になるのか。

答 一般の相談は平均5分位であるが、ストレス・メンタルヘルスに関する相談は30分程度かかり、また、同じ人が何回もかけてくる傾向がある。

一般質問（代表質問）

代表質問は、新年度に向けた「施政方針」などに対し、所属議員数3人以上の会派の代表が行う質問です。

1. こども発達支援センターの増築計画

【公明党】
大倉富重雄 議員



▲増築が予定されている
こども発達支援センター前の用地

問 市長は施政方針で、自らが手がけた新総合5か年計画の6つの大綱の一つ「市民一人ひとりの健康で生きがいを持った生活をささえる」の中で、こども発達支援センターの療育内容を充実するため、訓練室などの増築工事を進めるとしている。昨今の現状を賢察された小泉市長の英断であると、高く評価するものであり、平成22年6月議会、12月議会に取り上げ、増築を求めていた者として、大変感謝する。そこで、具体的にどのような増築工事を、どのように当センターの充実を図っていくのかを伺う。

答 心身に障がいのある子ども一人ひとりの障がい特性に応じた個別の訓練を実施するため、平成23年度予算に基本及び実施設計委託料を計上した。なお、整備内容については、現在のこども発達支援センターのニュータウン中央線側駐車場に理学療法・作業療法の訓練室などの増築を計画しており、平成24年度中の完成を予定している。

その他の質問

- ◆ JR成田駅東口再開発ビルの公益施設
- ◆ 3種の予防接種費用の助成
- ◆ 総合窓口設置事業

2. JR成田駅東口再開発事業の取り組み

【周公会】
青野勝行 議員



▲再開発が予定されているJR成田駅東口

問 JR成田駅東口第二種市街地再開発事業は、成田市を表玄関であり、かつ中心市街地であるJR成田駅前の整備事業として、多くの市民や駅前利用者にとり長年の要望であった。この駅前再開発を新5か年計画の中で着実に進め、JRと京成の両駅に囲まれる中央口地区全体の次のステップに向け取り組むものと思うが、交通機能の強化や観光機能の重視など、成田市の玄関口として今後の開発についての考えは。

や道路の整備を行い、車と歩行者が交錯し混雑した現状を解消することにある。また、観光面に配慮した駅前空間の創出の実現に向け努力していく。中央口地区全体のうち、当面はJR成田駅前整備の完成を目指す。京成成田駅西口地区の整備は、成田市としても十分認識しており、利用者の利便性の向上に向けて検討していく。

その他の質問

- ◆ 新5か年計画策定の検討過程
- ◆ 空港周辺地域の活性化のための新たな土地利用制度
- ◆ 少子高齢化社会に向けた、今後の公共施設のあり方

答 JR成田駅前の再開発事業実施の目的は、交通結节点としての機能強化を図るために駅前広場

3. 医科系大学の誘致

【政友クラブ】
石渡孝春 議員



問 小泉市長は2期目の再選を果たし、これからの市政の展開が期待されることである。空港問題を初め諸課題が山積しており、施策の実現に向け、さまざまな課題をクリアしなければならないと思慮するものである。新総合5か年計画の中でも、特に、市民の期待が膨らみつつある医科系大学の誘致について、その現状と考え方を伺う。

とめるためには、医療関係者の努力だけでなく行政としても方策を講じる必要があると考えている。まず、誘致に向けての基礎的な調査研究として、さまざまな効果の調査を実施するとともに、医学部設置済みの大学や医学部の新設を検討している大学などに対する意向調査を実施していきたい。

その他の質問

- ◆ 市長公約をどのように反映させるのか
- ◆ 大規模事業に対しどのような姿勢で臨むのか
- ◆ 財政計画と基金活用

答 市民が安心して暮らし続けることができる医療体制の構築のため、医科系大学の誘致に向けた取り組みを推進する。医療従事者不足を改善し、地域医療の崩壊を食い

4.成田ブランド構築の取り組み

【明成会】
上田信博 議員



問 成田空港成長戦略会議中間取りまとめの中で、成田空港・地域の情報発信力が相対的に低下している状況下では、魅力の磨き上げ、情報発信について思い切った取り組みを行わなければ、厳しい世論を転換し、利用者からの共感、評価を得ることは難しい。そのためには、空港と地域が一体となった成田ブランド構築の取り組みが喫緊の課題となったと認識しているが、具体的な取り組み内容は。

答 現在、イメージ調査などにより成田市が有する地域資源の全体像を把握し、成田ブランドが国内

外で共有されるために必要なコンセプト、テーマ及び世界観を踏まえ、実現性と実効性並びに継続性のあるグランドデザイン^{注7}を立案し、成田ブランド構想を策定することとしている。また、平成23年度には、認知度のアップを図るため、テレビ、新聞、雑誌などにおける情報発信と戦略的、継続的に行うための体制などを検討するとともに、機運の醸成に努めていきたいと考えている。

その他の質問

- ◆花の回廊事業の推進
- ◆観光行政の取り組み
- ◆教育の充実

^{注7} 長期にわたって遂行される大規模な計画。

5.総合型地域スポーツクラブの考えは

【リベラル成田】
伊藤竹夫 議員



▲中学校野球部、試合での円陣

問 青少年を取り巻くスポーツ環境では、中学校において運動部活動の休廃部や指導者不足などの問題が増加しており、スポーツを自由に選択したり、継続的に活動することが困難になってきている。青少年のニーズに対して地域の新しい仕組みづくりが急務といえるのではないか。また、成人を取り巻くスポーツ環境においても、身近な施設で気軽に体を動かしたい、新しいスポーツを始めたいという地域住民には、そのきっかけや受け皿が必要だと思うが、総合型地域スポーツクラブについての見解は。

答 総合型地域スポーツクラブは、自主運営を基本としていることから、地域で自発的なクラブづくりに取り組める機運の醸成を促すことが必要であると考えている。今後も関係団体との連携を図りながら、総合型地域スポーツクラブの設立、育成に向け、努力していきたい。

その他の質問

- ◆待機児童解消への取り組み
- ◆駅前という立地条件を生かし、公共施設をどう配置するのか
- ◆学校給食に地産地消をいかに取り込むのか

一般質問（個人質問）

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

6.中学校間の評価格差



雨宮真吾 議員



問 成田市内の中学校間において、最大7.8倍にも及ぶ大きな評価格差が生じている。これらは生徒たちの努力や能力の差だけにあるとは考え難い。評価は内申点として生徒の高校受験に重要な判断指標であり、1点の差で合否が左右する受験に用いられることから、厳格であることが求められると思うが対策と見解は。

答 客観的に見て7倍という数字が適正とは言えないと認識しているが、学校ごとの学力差や、年度ごとに生徒の状況が変わるという実態があり、どこまでが許容範囲で

あるかを明確に答えることはできない。教育委員会としては、各学校の教員に対し評価規準に即した評価を徹底するための指導を継続するとともに、研修等を通じ格差是正に向けたさらなる意識の向上と共通理解の徹底に努めたい。

その他の質問

- ◆市長公約の中間・事後評価を可能にする制度設計の確立
- ◆成田市から雇用創出策を
- ◆行政のフィードバック体制

詳しい会議録は閉会后約2カ月で、市議会ホームページ、市役所行政資料室、市立図書館、公民館図書室でご覧いただけます。

7.新清掃工場付帯施設と騒音下振興策



海保貞夫 議員



▲新清掃工場完成予想図

問 平成22年は騒音下全体が飛行回数30万回容認問題で揺れた1年であった。騒音下住民には、孫、子ども時代になっても、希望者は移転できるような制度をつくってほしいと願うものである。そこで、30万回増便に伴う騒音下の振興策もさらに拡大充実するよう要望する。久住空港対策委員会は、30万回容認条件の中でも新清掃工場付帯施設の拡充を強く要望しており、付帯施設は久住地域振興策の要になると考える。現在の付帯施設の進捗状況と今後の見通しは。

答 新清掃工場付帯余熱利用施設は、温浴施設、多目的広場や里山保全ゾーンを整備する計画となっており、現在は、実施設計業務を進めている。施設内容は、敷地面積が約8.9ヘクタールで、競泳用のプールのほか、ジャグジーや子ども用プール、寝湯、座浴などを配置し高齢者や障がいのある方の利用にも配慮した施設とする。また、振興策については、久住地区地域振興メニューに基づき事業に取り組んでおり、付帯施設の整備は久住地区土地利用基本計画でも要望されている生活拠点機能を具現化した事業として考えている。

8.TPP不参加表明は



鵜澤 治 議員



問 関税ゼロの自由化は、農業破壊と食料自給率を危険水域に押し込むものである。TPPの地方公聴会でJA北海道中央会の会長は「21世紀の世界の食料は不足傾向にあり、食料の輸出規制が起これば、日本のような食料輸入国はとんでもないことになる。お金を出せば食料が確保できる時代ではない」とTPP阻止を陳述した。小泉市長は、TPP参加せずを内外に表明し、国に中止を求める考えはあるか。

の生産額が減り、食料自給率は40%から14%程度に下がり、農業の多面的機能の喪失額は3兆7,000億円程度と試算している。成田市においても、試算では農業産出額は53億2,000万円減少する。今後とも国の動向を注視するとともに、千葉県及び他市とも連携して対応していきたい。

その他の質問

- ◆直売所増設、学校給食への食材供給で地産地消の推進を
- ◆住宅リフォーム助成制度の創設で地域経済活性化を
- ◆有害物質混入残土不法行為の未然防止策

9.共生のまちづくり

内山 健 議員



問 協働のまちづくり事業を推進するための仕組みづくりの一環として、市民団体やNPOが実施する事業に対し補助金を交付している自治体の例は多くあるが、成田市の協働のまちづくりへの財政支援についての考えは。また、成田市も自治基本条例の制定を予定しているが、協働のまちづくりを条文として入れている自治体は多い。しかし、協働のまちづくりについての基本方針や条例については、分離して考えていくほうがよいと思うが、成田市はどのように考えているのか。

一翼を担うこととなるNPOなど、市民活動団体が行う取り組みが一定の公共性を果たす場合に、その活動を支援するための制度設計に取り組んでいる。また、協働のまちづくりの考え方を明確にする基本方針が必要であると認識しており、具体的な指針の策定を進めるとともに、協働に関する条例についても、その意義と効果について検討していく。

その他の質問

- ◆男女共同参画のまちづくり
- ◆高齢者・障がい者・児童等と共生するまちづくり
- ◆多文化共生のまちづくり

答 行政サービスの提供の

10.総合評価方式 一般競争入札

荒木 博 議員



問 成田市では平成20年度より試行を行い、22年度から建設工事の一般競争入札において総合評価落札方式を実施している。評価項目及び評価基準には、企業の施工能力、配置予定技術者の能力、地域精通度、地域貢献度がある。地域貢献度では8項目中3項目を選択し評価しているが、この中に成田市消防団協力事業所の評価と、障がい者自立支援に対する社会貢献の評価を新設してはどうか。また、障がい者の雇用促進への貢献状況の評価項目はあるが、現在の3項目から外されており評価対象とできないか。

答 工事の品質確保を目的とする総合評価方式の入札を継続的に実行するためには、地域貢献度の評価項目について一定の枠の中で実施していかなければならないため、提案の評価項目の導入は困難であると考え。障がい者の雇用促進への貢献状況の評価項目は、23年度の実施分から導入していきたい。

その他の質問

- ◆区・自治会・町内会への加入促進
- ◆企業誘致
- ◆使用済み天ぷら油の回収

11.高齢者福祉の 考え方と取り組み

水上幸彦 議員



問 乗合型移送サービスの導入、従来のコミュニティバスや他の足の確保など、元気な高齢者対策として、それぞれの事業が単独でなく、相互の事業が補完し合い相乗効果を生むようなものにできないか。乗合型移送サービスは、どのような形態で足の確保に寄与する考えか。また、独居老人の問題は社会的な問題となり、買い物難民という言葉も生まれ、高齢者の孤立化が心配されているが、成田市の認識と対応は。

乗合型タクシーによる移送サービスの実証実験を行う予定である。実証実験後にはコミュニティバスも含めた公共交通のあり方について検討していく。また、買い物難民や独居高齢者等の孤立化については、現在、実態把握調査の結果を取りまとめているところであり、今後とも現在行っている各種サービスの啓発に一層努めていきたい。

その他の質問

- ◆教育政策のあり方
- ◆安全・安心の取り組み
- ◆スポーツ振興

12.駅前マンションは 市民の期待に沿うか

海保茂喜 議員



▲企業の提案による再開発のイメージ図

問 再開発事業は、その現状と将来を総合的に見据え、市民に必要な公共的な機能を優先し、市民要望を中心とする計画において、マンションやオフィスの賃貸は、市民の期待に沿わないものであることをいま一度確認し、議論すべきではないか。マンションによって中心市街地の世帯数を急増させる計画を見直し、表参道の職住共存を守ることが中心市街地を救う政策になると考えるがどうか。

場の拡張に伴い移転する地権者の生活再建の場として再開発ビルを建設することとした。成田市の顔である中心市街地に定住人口を誘導することは、地域の活性化に極めて有効な手段であることから住宅を計画し、住宅を主体とした提案を採用した。

その他の質問

- ◆成田駅再開発による風害などの周辺環境への影響
- ◆(仮称)土屋駅の設置に向けての現状と展望
- ◆空港の将来像、残される騒音問題の解決

答 再開発事業の主な目的は、駅前広場や周辺交通環境の改善を図ることにある。このため駅前広

13. 600億円を超える市債減への取り組み

村嶋照等 議員



▲成田国際空港から離陸する飛行機

問 今、国の債務残高は700兆円弱、地方の債務を合わせると900兆円となり、平成27年度には1,000兆円にもなると言われている。そして、成田市がこの4年間で減らすことができた市債は、2億円にも届かない額であった。他の自治体にはない空港からの税収を考えると、もっと削減できるはずではないか。成田市では、これから大型事業が目白押しであるが、借金を減らす努力は怠ってはならない。市債減へ取り組み姿勢について伺う。

答 成田市の平成22年度末における市債残高は、一般会計で約

408億円、特別会計を含めると、約628億円と見込んでいる。25年度までは、駅前再開発事業や新清掃工場整備事業などの大規模建設事業の財源として、市債の発行が必要となるため、必然的に市債残高も増加するが、可能な限り借り入れの抑制を図り、財政の健全性の維持に努めていく。今後も、プライマリーバランス^{注8}の維持などに留意しながら、適正かつ有効に市債の活用を図っていききたい。

その他の質問

- ◆江川上流の改修
- ◆農業用排水路の整備

注8 一般会計において、歳入総額から公債発行収入を差し引いた金額と、歳出総額から公債費を差し引いた金額のバランス。

14. 男女共同参画の地域社会を実現するために

足立満智子 議員



問 成田市は現在第2次成田市男女共同参画計画を策定中である。市民生活に直結する自治体の計画は、より具体的で実効性のあるものでなければならない。しかし、その先頭に立つ小泉市長は市議会議員当時、男女平等を進める国や県の政策に大変な危機意識をもっていた。市長として現在の考えは。また、歴代市長が必要性を認めながら手をつけなかった拠点施設、男女共同参画センターを任期中に設置する約束を。

答 市議会議員当時は男女共同参画社会形成の推進に対しては社会が大きなうねりの中に置かれて

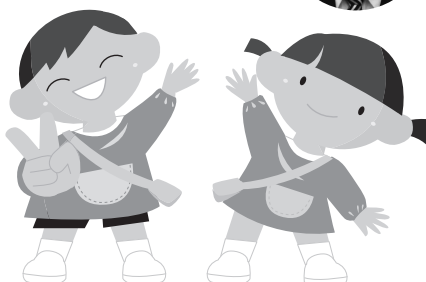
いたように感じている。社会全体では、社会的・文化的につくりあげられた男性像や女性像を全て否定するような考え方もあった。男女平等という意識は全ての基本であることは十分認識しており、男女共同参画の形成を推進していきたいと考えている。なお、男女共同参画センターについては新総合5か年計画に基づいて進めていきたい。

その他の質問

- ◆こども政策の充実を
- ◆文化サークル活動への支援
- ◆30万回に向けた成田国際空港の騒音問題及び対策

15. 待機児解消のため保育所の増設を

馬込勝末 議員



問 最近では成田市の待機児が65名になっており、その解消のためには、保育所の増設が必要であると考えます。また、政府の子ども・子育て新システム案は、保護者と保育所が直接契約することになり入所できなくても保護者の自己責任となること、保育料は時間に応じて負担し認定時間を超えた分は全額自己負担で上乗せ徴収も可能になること、保育時間や設備も違う幼稚園と保育園を一体化したこども園への移行等の問題があるが、成田市の待機児対策の方針は。

答 国が創設した安心こど

も基金を活用し、私立保育園の増改築に対し補助し、受け入れ枠の拡大を図っている。公立保育園も、今後の大規模改修にあわせて定員増を図り、待機児童の解消に取り組む。子ども・子育て新システムは、内容がまだ明確に示されていない状況であり、今後の検討経過を注視しながら情報収集に努め、制度改正にあわせて取り組めるよう研究していく。

その他の質問

- ◆駅前マンション計画の見直し
- ◆中学校3年生までの医療費助成
- ◆金融円滑化法（住宅ローン金利引き下げ）の広報を

議場コンサート♪



3月定例会が閉会した3月9日、議場でソプラノ(向田順子さん)・ヴァイオリン(今仲尚子さん)・ピアノ(中村香里さん)によるコンサートが開かれ“アヴェ・マリア”など4曲が演奏されました。

市議会だより編集委員会より

市民の皆さんに議会を身近に感じていただける魅力ある紙面づくりを目指し、市議会だよりに取り組んでまいりました。今期リニューアルした市議会だよりに、多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

次号からも、新メンバーにてより良い紙面づくりに努めてまいります。



〈市議会だより編集委員〉

前左から湯浅雅明副委員長、油田清委員長、平良清忠委員、後左から海保茂喜、鶴澤治、大倉重雄、荒木博の各委員

議会を傍聴してみませんか

本会議はもちろん、常任委員会・特別委員会の様子を傍聴することができます。

皆さんが選んだ議員の活動や、市政について知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

日程や一般質問の質問項目は、市議会ホームページで確認するか、議会事務局までお問い合わせください。

東日本大震災へ義援金

成田市議会議員団では、3月11日に発生した東日本大震災の被災者支援への義援金を、全国市議会議長会を通じて送りました。

このたびの大規模地震により
被災された皆様に
心からお見舞い申し上げます

6月定例会は、 6月10日(金)開会予定です

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760
TEL 0476(20)1570(直通)
FAX 0476(24)0336

コーヒータイム



～復興に、心と力を合わせよう～

時が経つに従って、被害の大きさが突きつけられている東日本大震災。さらに原発の被害が追い打ちをかけています。被害に合われた皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を願わずにはられません。

現地では懸命な救援作業が続いています。全国からも多くの支援が届けられています。避難所の整然とした列を見て、暴動や略奪のない姿に世界から驚嘆の声も上がっています。市内でも交通の乱れや節電に、不満を言うことなく被災地へと心を寄せています。日本人の心が試されています。

『市議会だより』は限られた紙面のなか、市民と市議会をつなぐ役割を担っています。議会棟に政治があるのではなく、市民の生活の中に政治がみえることこそが本来の姿です。心と心をつなぐ地域力と、それを支える地方自治も試されています。

市議会だより編集委員長 油田 清

リサイクル適正(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

PRINTED WITH
SOYINK™
環境に優しい大豆インクを使用しています。

「市議会だより」は、再生紙を利用しています。